第1回検討会振り返りの概要

タイムラインとは

◆ タイムライン(防災行動計画)とは・・・

住民の命を守る、さらに経済被害を最小化することを目的に、「い つ」「何を」「誰が」の3つの要素を、防災に係わる組織が連携し、 災害に対するそれぞれの役割や対応行動を定めたもの。

タイムラインを構成する 3 つの要素



「いつ」主な災害の発生時点から逆算した時間帯



「何を」 事前に行う防災行動内容(あらかじめ調整し決める)



「誰か」 防災機関や組織または住民

江の川上流水害タイムラインの作成で目指すこと

これまで個別で対応していた**防災に対する課題**について、**江の川上流(三次河川管内)に関わる関係者全員で知恵を出し合う**ことで解決策を導き出し防災対応力を向上させる。

交通 機関 ライフ ライン

それぞれの機関だけでは 解決できなかった課題

行政 機関

報道



例えば・・

課題や疑問

- ◆ 水害を想定した職員の参集計画を作成したいが、 参集時にはすでに道路冠水などで通行止めになっ ているだろうか? (行政機関、ライフライン)
- ●様々な機関から防災情報が発表されているが、集 約された情報はあるのだろうか(報道)
- 車両の退避をしたが退避場所も浸水する恐れがあり場所がない。(交通機関)
- ◆ 大規模避難の際に移送手段が足りていない(行政 機関)

情報共有

- ◆ アンダーパスは、雨量基準で通行止め にしている。(行政機関)
- → 台風の暴風域が次の日に直撃する場合 、始発から運行を止める。(交通機関)
- 県で自治体から情報を集めてのホーム ページアップしている。(行政機関)
- ▼ 防災拠点に車両の退避場所がある(行 政機関)
- 受水の恐れがある場合は、車両は使わずに退避させる。(交通機関)

解決策

- → 台風予報、雨量を基に参集を判断しよう。 (行政機関、ライフライン)
- ◆ まずは、県ホームページを見に行こう。 タイムラインで各機関の役割を確認しよう。(報道)
- ୭ 防災拠点に車両を退避させて、その車両を大規模避難の移送手段としよう。(交通機関、行政機関)

2

江の川上流域の特性を踏まえた タイムライン作成のポイント

■ 江の川上流の水害特性を踏まえながら、梅雨前線や台風による水害(内水や土砂災害を含む)に対する 逃げ遅れゼロ及び社会経済被害の最小化に向けて、以下の観点に着目したタイムラインを作成する。

▶ 出水の立ち上がりが早く、広範囲におよぶ市街地の水没

→事前の住民の的確な避難行動に向けた対応の実施

- **行政**:複数の河川情報の把握、避難情報の判断・伝達、広域避難を視野に自治体間の調整
- **避難所施設管理者**:避難所の開設、避難者の受入れ
- 鉄道、バス運行業者:避難者の移送支援、利用者の安全確保
- **報道**: 避難情報の住民への伝達 など

> 氾濫流の貯留による長期湛水

→長期避難に備えた事前準備の実施

- **行政**: 行政機能の確保、避難所運営体制の確保、排水ポンプ車による排水
- 避難所施設管理者:備蓄物資の準備、避難者の受入れ
- 警察・消防・自衛隊:救出・救助体制の確保、孤立者の救助活動遣
- **ライフライン事業者**:避難所への電力供給、給水、通信確保

> 交通網の途絶による孤立化

→**早期の復旧活動**を行うための多機関連携

- **鉄道事業者、道路管理者**:被害に備えた代替輸送手段、代替ルートの検討
- **警察・消防・自衛隊**:交通途絶を見越した部隊配置、空輸による物資輸送
- ライフライン事業者:交通途絶を見越した応急復旧体制の確保

など

など

タイムライン完成までのワーキングスケジュール

- タイムラインの完成イメージと作業分解
 - ① タイムラインレベルの確認(いつ)
 - ⇒ 防災気象情報の発表のタイミングと、それによって防災行動を切り替える(レベル移行する)タイミングを関連付けて定義したもの

防災行動項目(何を)

② 第1階層: 行動種別の抽出

③ 第2階層: 行動項目の抽出

④ 第3階層: 行動手段・内容への具体化・細分化

⑤ 役割分担(誰が)

の確認

 ■ ワーキングスケジュール

目標設定と進め方の確認

勉強会

R元年 6月20日

- ① タイムラインレベル(案)の確認
- ② 水害リスクの把握と<u>防災行動項目の</u> 抽出(第1階層)

行動項目の分析と重点行動項目の抽出

第1回 検討会

R元年 7月4日

重点行動の具体化・細分化

- ・タイムラインレベルの設定
- ③ 防災行動項目(第2階層)の抽出
- ④ 重点行動項目の具体化・細分化(第3階層へ)

江の川上流水害タイムライン(素案)作成

第2回 検討会

R元年 8月9日

役割分担の確認

- ⑤ 役割分担の確認
- ・行動項目を「いつ」「**誰が**」 「誰と」実施するか確認
- ・他機関との連携ポイントを確認

江の川上流水害タイムライン (案) 作成

第3回 検討会

R元年 8月30日予定

全体共有と課題確認

江の川上流水害タイムライの全体共有 (読み合わせ)

江の川上流水害タイムライン検討会

第1回開催報告(1/3)

第1回検討会では勉強会で各機関毎に抽出した防災行動項目(第1階層)をもとに、具体化・細分化(第2階層、第3階層 の抽出)を行いました。これにより、他機関との連携を必要とする課題の確認ができました。

◆ 開催概要

日時:令和元年7月4日(木)14時00分~16時30分

場所:広島県三次庁舎 102号会議室

-次第-

- 1. 開会挨拶
- 2. 水害タイムラインの作成に向けて (座学)
- 1. 防災気象情報の利活用について(座学)
- 2. タイムラインで想定する水害シナリオと タイムラインレベルの設定
- 3. グループワーキング
- 4. 質疑応答
- 5. 今後のスケジュールについて
- 6. 座長講評
- 7. 閉会挨拶

参加機関

- 自治体: 2市
- 都道府県
- 国十交诵省
- 警察
- 白衛隊
- ライフライン事業者
- 鉄道事業者
- バス事業者
- 報道機関
- 福祉施設、一般社団法人
- 気象庁

全37機関(うち25機関出席)

重点行動項目の具体化・細分化



全体の様子



グループ内発表



重点行動項目の具体化・細分化

重点行動項目の具体化・細分化



グループワークの成果発表



グループワークの成果発表

座長からの講評



水害が起こる前にやるべきことがあることを理解し、道 路状況をはじめとするオンラインの情報がどうしても必 要ということも多くのグループで共有していた。 今日の結果、経験を持ち帰って、まだ気づいていないこ となどをもう一度確認していただきたい。

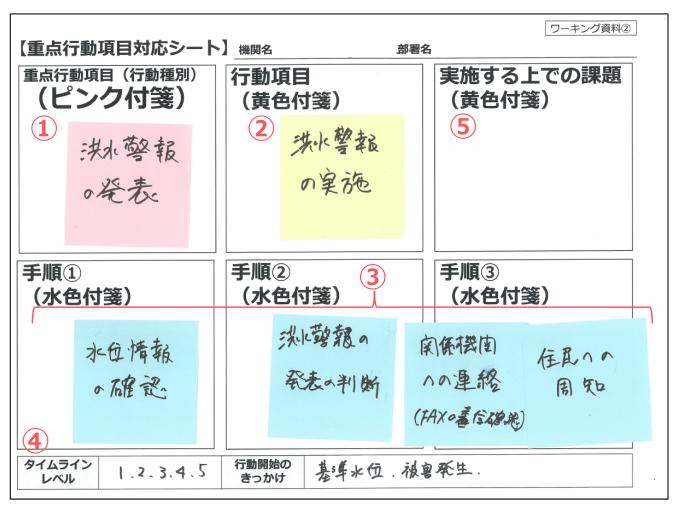
座長:広島大学大学院 工学研究科 河原教授

江の川上流水害タイムライン検討会

第1回開催報告(2/3)

- ワーキング資料②重点行動項目対応シートを使用して、優先度の高い重点行動項目を実施手順や内容がわかる程度に具体化・細分化しました。
- 重点行動項目を実施する上での課題、行動のきっかけを記入しました。

重点行動項目対応シート(例)



①【第1階層】

行動項目:

行動種別 (タイムラインたたき台の 重点行動項目)

②【第2階層】

行動項目:

行動種別(第1階層)の細目

③【第3階層】

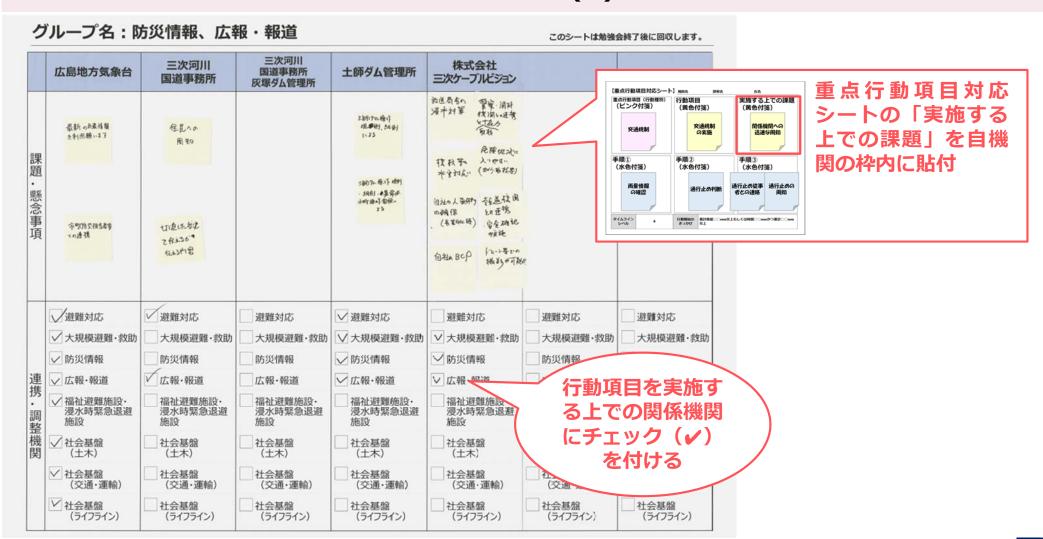
行動項目: 行動手順・内容

- ④行動開始のきっかけ
- →実施のタイミングを明確化
- ⑤実施する上での課題・ 事前に調整すべき内容など

江の川上流水害タイムライン検討会

第1回開催報告(3/3)

- グループ内で、機関ごとに**重点行動項目対応シートの内容発表**を実施しました。
- 重点行動項目対応シートの「⑤**実施する上での課題」を大判シートに貼付**してその項目 を**実施する上で関係するグループにチェック(√)** しました。



江の川上流水害タイムライン(素案)について

各機関が確認した**機関別行動項目チェックリストを統合**し、**"江の川上流水害タイムライン**

(素案)"を作成しました。また、文言の統一や行動の主体・支援の関係性を考慮し、一部、 修正案として反映しました。

ワーキング資料②参照

タイムラインレベル2 : 氾濫注意水位超過、内水氾濫

トリガー : 洪水警報の危険度分布(注意)、洪水注意報、大雨注

防災行動項目

【行動項目の整理】

第1回検討会後、第2階層と第3階層を各機関案反映(重点行動項目シート参照)

【重点行動項目の整理】

- ○:行動を実施する機関
- ():第1回検討会ワーキングで各機関が
 - 具体化・細分化した項目
- ○:事務局にて具体化・細分化した項目(情報収集)

			層			_												
	1	(1] 勁-現 日 <i>)</i>	(1) 動士禄·手順)		所	R 灰塚ダム管理	/		レビ	広島	株式会社	пν		理課	祉課			
95	情報の収集	気象・台風情報の収集	全般・地方・気象情報、台風情報、台風 進路予報、週間予報の確認(報道・各社 ホームページ)		0		0	\bigvee				0	0	0	0	0	0	0
96		気象注意報・警報の収集	気象台からの発表情報の確認	0	0	(0					0	0	0	0	0	0	0
97		■ ■	洪水危険度分布の確認(WEB)	0	0		0					0	0	0	0	0	0	0
98		• •	土砂災害に関するメッシュ情報(注意) の確認(WEB)	0	0		0					0	0	0	0	0	0	0
99		雨量・水位情報の収集	水位・雨量情報の確認(川の防災情報 (国管理河川)、県防災情報、自機関の 計測器等)	0	0		0					0	0	0	0	0	0	0
100)	■道路交通情報の収集	道路情報提供システム等の確認		0	(0					0	0	0	0	0	0	0
10	ı	■ライフライン情報の収集	各機関のホームーページの確認		0	(0					0	0	0	0	0	0	0
10:	2	■ ■被害情報の収集 ■	被災状況等の確認(県防災情報、自治 体、住民からの情報等)	0												0	0	0
10:	3	- 	自治体体制状況の確認													0	0	0
104	1	気象伝達情報の収集	自治体気象伝達状況の確認													0		Ī
10	5	■避難所情報の収集	避難者数の確認											0				
ŗ									 									